
会 議 報 告

事業名	新型コロナウイルス対策本部会議（第2回）		
日時	令和2年2月19日（水）14：00～	場所	本庁2階 大会議室
出席者	【三役】（副本部長）神里敏明、（副本部長）知念優		
	【総務課】金城満、小久保栄太郎、		
	【観光産業課】尾崎憲男		
	【民生課】新垣聡、神田沙也加、尾崎リサ		
	【会計課】宇野昭子		
	【教育委員会】小嶺国土 【渡嘉敷診療所】山城啓太 （計11名参加）		
会議内容	<p>◆ 各部の取組状況について</p> <p>1. 総務課：本島への患者移送について保健所に問い合わせ中。 消防団の備品状況確認。</p> <p>2. 観光産業課：観光協会、商工会会員へ資料の配布。</p> <p>3. 民生課：放送、広報へ掲載。各関係機関へ資料の配布。</p> <p>4. 教育委員会：学校へ資料の配布。</p> <p>◆ 情報提供について</p> <p>県から各関係機関へコロナウイルスに関する情報が送付されるが、今後は各部長に最新情報をメールで送付し、部長から各部員へ情報提供を行う。</p> <p>◆ 医療体制について（診療所）</p> <p>各離島の状況を医療センターへ報告していて、不確定要素が多いと話に出ていた。病院、県、保健所でそれぞれ情報にバラつきが有る。国からの指針が沖縄県や離島に即した方法では無いことから、方針を合わせるために時間がかかっている。</p> <p>県とメッシュは協定を結んでいて、海上保安庁も協力可能である。ただし、重症化で海上保安庁に依頼して移送する場合は、医療従事者が同行していないため、村から看護師又は医師が同行することになる。その間、村内で起きる急患対応が手薄になるため、自衛隊ヘリでの対応をお願いしたい。</p> <p>◆ 懸案事項について</p> <p>1. 交流の家と情報共有するべきではないか。 ⇒搬送手段が決まり次第、伝えていく。また、今後の会議について交流の家へ参加を促す。</p> <p>2. 高齢者と持病持ちの方が、感染しないよう取り組むべきではないか。 ⇒デイサービスや高齢者の集まりを控える規制もないので、村の判断で実施することとなる。今後状況や方針が変わった場合には、制限する可能性もある。</p>		

3. 座間味の状況を確認したところ、下記の内容で決定している。

【隔離場所】座間味（保健指導所）、阿嘉（ターミナル2階）

【移送】フェリー（ペット室）、ライナー（妊婦さん等が利用する部屋）

【移送車両】福祉車両を専用車両として固定

◆ **今後の確認事項について**

1. 感染者の隔離場所、移送車両を検討（各課確認）

2. 本島への移送手段方法（県より指針が出て決定する）

◆ **次回開催日程について**

県より離島の指針が示されてから開催する。